



No.438

ペンテコステ

2026年3月1日

(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

〒891-0113

鹿児島市東谷山 2-33-13

TEL・099-268-2084

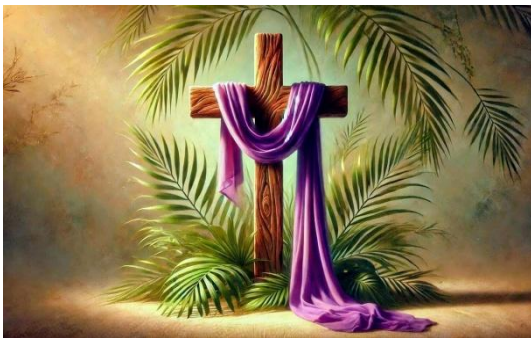
FAX・099-284-5738

URL.https://catho**lic**-tc.jp

発行人 盛 克志神父 編集委員:上原敏子、上釜照美、徳永珠美

## 回心の季節 ～ただ愛のため～

主任司祭 盛 克志



今年は、2月18日の「灰の水曜日」から2026年の「四旬節」が始まりました。教会(私たち)は、今、復活祭の準備期間を過ごしています。四旬節は過越の神秘へと向かう道のりです。この季節は復活祭前の祈りと償いの期間で、「灰の水曜日」に始まり、復活祭の主日(今年は4月5日)まで、日曜を除いて40日間続きます。この四旬節は「改心」ではなく「回心」の季節とされています。心を自分ではなくて神さまの方に向け、

神さまの愛を信じ、神さまの愛にすべてを委ねていくこと、神さまに心を開いていくことです。

教会は伝統的に、私たちに「祈り」・「節制」・「愛の実行」を呼びかけます。それは、イエスさまのご受難と十字架での苦しみと死に思いを馳せ、自分自身も神のみ前で心を改め、新しいいのちの道に立ち返るためです。

信仰のこの歩みは、回心の歩みです。新約聖書に出てくる「回心」は、ギリシャ語で「μετάνοια」(metanoia)と書き、「メタノイア」と読みますが、偶然でしょうか、逆から読んでみますと、「アイノタメ」(愛のため)とも読めます。人の痛み、悲しみや苦しみ、孤独などに共感・共有できる所に自分の視点に移すことでもあります。まさしく、視座・視点の転換を意味します。

そして、「回心」とは、何よりもまず日々の生活の方向転換を意味します。また、考え方を変えることも意味しています。「回心」は、神からくる恵みでもあります。

「神からいただいた恵みは無駄にははいけません。…今や、恵みの時、今こそ、救いの日」

(コリントの信徒への手紙 26章 1節～2節)

この与えられた日々を大切にしながら、今年もよりよい準備をもって、主の復活の喜びを共に受け取りましょう！

### 「シリアの聖エフレムの四旬節の祈り」

「ああ、我が主、我が人生の主よ！

怠惰の精神、気弱さ、権力欲、そして無駄なおしゃべりを私から取り除いてください。しかし、むしろ純潔の精神を、謙虚さ、忍耐、そしてあなたのしもべへの愛を与えてください。そうです、主よ、王よ！私自身の過ちを見、そして私の兄弟・姉妹を裁かないことを私に許してください。あなたは永遠に祝福されています。アーメン。」



# 3月の聖人から



# 10日 聖ドメニコ・サヴィオ 記念日 1842年-1857年

- \* 四旬節期間中に断食をしましょう。
- 食べ物の節制は回心の歩みに不可欠なものです。
- \* 隣人を攻撃し、傷つけることばを控えましょう。
- \* 主のみ声に耳を傾ける機会に！カトリックジャパンニュース

## 3月17日 聖パトリック司教 記念日 385/390年～461年頃

パトリックは、ブリテン島西部に生まれた。若いころにアイルランドの海賊に捕えられ、奴隷として売られた。苦しみの中でパトリックがしたことは、祈ることであった。ある日彼は脱走し、多くの困難に遭いながら、故郷に着いた。そこで、彼は聖ジェルマノの弟子となって神学を学び、フランスのレランスの修道院で生活したのち司祭となった。435年ごろからアイルランド宣教に派遣され、キリスト信徒のほとんどいない国で、人びとを信仰に導いた。アルマーを中心として各地の教会の組織化に努め、修道院制度を推進した。444年ごろ、アルマーを大司教区に定めて彼自身が司教に就任し、アイルランドのキリスト教化と文化の発展に貢献した。アイルランドのキリスト教化は、アメリカなどのカトリック教会の最初の土台となった。



彼の著書である『告白』と『書簡』を読むと、パトリックがいかに神に信頼をよせ、謙遜で信念をもった人物であったかがうかがえる。

パトリックについては多くの伝説があり、アイルランドからすべての蛇を追い出したとか、三つ葉のクローバーで三位一体を説明したという話が残っている。彼は、アイルランドの守護の聖人で、国民から最も親しまれている (聖パウロ女子修道会)

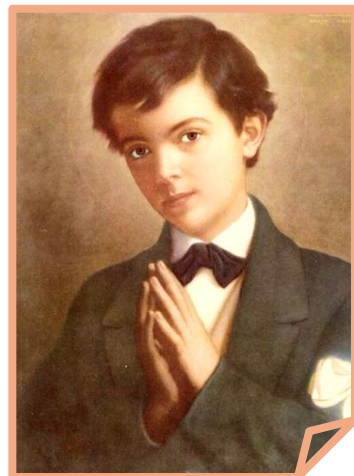
### 12月7日(日) 堅信式



クリスマスのミサに与る妙行寺の方々



イタリアのトリノ近郊の鍛冶職人の次男として生まれた聖ドメニコは、12歳のときに、サレジオ会の創立者である聖ヨハネ・ボスコの学校に入り、彼の指導のもとに感性豊かに成長した。14歳の時仲間とともに「無原罪信心会」をつくり、友愛を示し、仲間からも慕われた。



もともと体の弱かったドメニコは、いつも忍耐強く、そして明るい態度で生活していたものの、絶え間のない精神の緊張と、熱心な勉学とによって神経を消耗し、ついには肺炎にかかり、両親のもとに戻ってから数日後に、15歳という若さで亡くなった。ボスコは、ドメニコの伝記を書き、彼の神と人への真摯な姿勢を称えている。

(電子書籍・聖人伝より中嶋真澄著)

## Memory 2025年

11月23日(日)  
大掃除



11月4日(火)  
教会花壇のお手入れ



唐湊修道院  
平和の祈りを捧ぐ。毎月第3水曜日にあります。ご一緒しませんか？



### 10月聖年の扉 アッシジの教会



「二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいるのである」(マタイ 18.20)。

毎朝のミサが始まる前に、いつも思い出すイエス様の言葉です。

少人数ではありますが、常に来てくださる信者の方々と共に捧げるミサは、一日の中で最も聖なる祝福された時間です。

ミサはカトリック信者の信仰生活を支える最も重要な柱であり、神と人間が対話する形で成り立っています。

回心の祈り、グロリア、答唱詩編、感謝の賛歌と信仰宣言を含むさまざまな祈りは、私たちが神に捧げる言葉であり、逆に朗読、福音、聖体拝領の儀式と派遣の祝福は、神が私たちに向かって語りかける瞬間でもあります。

主日のミサだけでなく、平日のミサでも多くの信者が神と対話する時間を持ち、日常を始めることを願ってミサを始めます。

ステファノ神父

そのうちに

あまり使わない方がよいことばの一つです。

「そのうちに」という言葉は実行の意思が希薄な時に使う。

意志があっても、熱意がないときに、この言葉を使う。

熱意があっても、具体的な計画がない時に、やはり使う。

ヨハン・レヒナ師  
—心に残ることばより—



## 彼らも人間

「彼らも人間」と母がよく言いました。第2次世界大戦が始まる頃、フランス兵が私の町に来ていた時の話です。

「彼らも人間、彼らにも家族があって、親と子がいます。」母が、この外国人たちを指して、わたしたちによく聞かしてくださいました。私はその時まだ小学生でした。戦争が始まったばかりで、西のほうからフランス、東はウクライナからきた人たちの姿がよく目に入ってきました。特にフランス人たちをよく覚えています。炭鉱で六日間働いて、休みの日にはドイツとフランスのチームを作って、神前試合もありました。捕虜の人たちが、収種手伝いをしている姿も覚えています。

ところがある夜のことで。ご家がなかなか落ち着かない。忙しそうなお客様 2~3 人が来ているようです。それはなんだろうか・・・だんだん分かったことが次のことです。

つまり、炭鉱で父と一緒に働いているフランス人の捕虜が、その夜キャンプを脱出し、父がそれを手伝っていました。逃げた人たちが暗いうちに私たちの家まで来、そこで着替えて、パンを袋に入れて、フランスをめざして“旅たった”。300 キロメートル離れている故郷に無事に着いたか、分かっていません。

一つのことだけよく分かっています。そのときから少しずつ私のうちにヨーロッパが生まれてきたと言うことです。あのときの父の言葉をよく覚えています。「このことを人に話したら、お父さんが逮捕されるかもしれません。分かったか。」「分かりました。」

父は今頃になって、もう逮捕される心配はないだろうと思って、日本の皆さんにこの話を書きました。それに母の遺言。

彼らも人間

2012. 8. 17

-ヨハン・レヒナ師 レデンプトル会フォーラム記事より-

令和8年(2026年) 谷山教会 3月の予定と祝日表 (3月1日～3月31日)

日 時			典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会	
1日	日	6:30&9:00	四旬節第2主日 *ベトナム人共同体ミサ 14:00～	⑧・⑨			
2日	月	6:30	朝ミサ	今月の行事当番班は②・③班です。			
3日	火	6:30	朝ミサ				
4日	水	19:00	召命ミサ				
5日	木	6:30	朝ミサ				
6日	金	6:30	初金ミサ 10:00～十字架の道行 「世界祈祷日」14:00～日本キリスト教団鹿児島教会				
7日	土	19:00	四旬節第3主日のミサ			⑩	教会
8日	日	6:30&9:00	四旬節第3主日		⑩		
9日	月	6:30	朝ミサ				
10日	火		朝ミサなし				
11日	水		召命ミサなし				
12日	木		朝ミサなし				
13日	金	6:30	朝ミサ 10:00～十字架の道行				
14日	土	19:00	四旬節第4主日のミサ			①	教会
15日	日	6:30&9:00	聖クレメンズ・マリア・ホフバウアー(レデンプトール会聖人) 四旬節第4主日のミサ ・ミサ後役員会 ・13:30～コミチウム		①		
16日	月	6:30	朝ミサ				
17日	火	祝日 6:30	日本の信徒発見の聖母 朝ミサ				
18日	水	19:00	召命ミサ				
19日	木	祭日 6:30	聖ヨゼフ 朝ミサ				
20日	金	6:30	朝ミサ 10:00～十字架の道行 春分の日				
21日	土	19:00	四旬節第5主日のミサ		②・③	教会	
22日	日	9:00	四旬節第5主日 (6:30のミサはありません) 四旬節黙想会(ミサと講話, 赦しの秘跡)指導司祭ステファノ神父様	②・③			
23日	月	6:30	朝ミサ				
24日	火	6:30	朝ミサ				
25日	水	祭日 19:00	神のお告げ 召命ミサ				
26日	木	6:30	朝ミサ				
27日	金	6:30	朝ミサ 10:00～十字架の道行				
28日	土	19:00	受難の主日のミサ/9:00～蘇鉄の枝切		④	教会	
29日	日	6:30&9:00	受難の主日(枝の主日) ミサ後司牧評議会	④			
30日	月	6:30	朝ミサ				
31日	火	6:30	朝ミサ				

\*4/4 10:00～復活の卵作り (4班)      \*4/5 10:00のミサ後復活祭のお祝い

\*今年度中の維持費納入とミサ献金へのご協力をお願いいたします。

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00～	3, 10, 17, 24, 31日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 13:30～	4, 11, 18, 25日
聖書と教理Ⅱ	毎週金曜日 10:00～12:00	6, 13, 20, 27日